
不良少年の疑念

日野五十鈴

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

不良少年の疑念

【Nコード】

N5410J

【作者名】

日野五十鈴

【あらすじ】

不良少年進路しんじの鞆から出てきたものとは…？

ぶかぶかと、紫煙が青空へ昇ってゆく。

6限の終わりを告げるチャイムが鳴った。

「まあゝたこんなところでタバコふかして」

ひよいと、屋上の壁にもたれ掛かるオレの顔を覗き込む。見回り先生こと葛城用務員かつらぎだった。先生、というのは御愛想。

不良中学生のオレの日課は、昼休みになると屋上に出て、昼寝したり起きてるときは煙草を吸ったりする。先公も最初こそ注意していたが、今じゃもう諦めたようだ。

でも葛城だけは違った。

「この歳でヘビースモーカーになっちゃうと、長生きできないぞ？ シンロ」

「シンロじゃなくて進路しんじ！ いいかげん覚えろ！！」

そう、オレの名は進路。慎二でも信次でも真司でもなく『進路』。この漢字を当てられて15年、どれだけ苦労したことが。

葛城はオレの煙草を没収すると、その煙草代分の小銭をオレに寄越した。葛城の気に入ってるのはそういうトコだ。不良だからって、

他の先公みたいに汚物を見るような目付きをしない。

「また5限からの授業サボったのか？」

「…あんなバカバカしい授業、受けてられっかよ」

オレが授業をボイコットするのはそれが理由だ。授業についていけないからじゃない。簡単すぎて逆につまらないのだ。

よって午前中は居眠りか早弁、午後は昼寝か煙草という怠惰な生活を、ここ2年ばかり続けている。

「…授業受けないなら受けないでいいけど、タバコはそろそろやめろよ。t a s p o の存在意義が無くなるから」

それはギャグなのか天然なのか。

「…ま、考えておく…」

この金でまたショートホープでも買おうと、オレは屋上をあとにした。

階段の踊場で方向転換したとき、駆け登ってきた誰かとぶつかった。

「うわっ！」

「いった〜」

その衝撃で全生徒共通、これだと義務付けられた学校鞆が互いに放り出された。アイテムひとつに義務だなんてクソくらいえと思うのだが、鞆買い換える金惜しさに、入学当初から同じ鞆を使い続けている。

「ごめん、朝倉くん^{あさぐら}」

「いや、オレは平気だけど…えっと…」

「…もしかして僕のこと分からない？」

「ハハハ〜…ゴメン」

「やだな〜同じクラスなのに。…松井^{まつい}。松井かほる」

「ああ!!」

確かにこのメガネくん、松井とは面識があつた。中学生男子なのに名前が『かほる』だなんて気の毒な少年は、射撃部に所属して全国大会にも出場していた。

「朝倉くん、今日も午後の授業、受けてなかったよね？」

「ま、毎度のことです」

「せめて部活くらいやれば？ 運動神経抜群なんだから」

「…まあな」

自分で言うのも何だが、運動神経は悪い方ではない、ただ、基礎練とかがかつたるくてやってられなくなるのだ。

鞆を拾って立ち上がった松井は、オレに手を差し伸べてくれた。

「それとも、僕と一緒に射撃部入る？」

オレは落ちてる鞆を拾うとその手をとった。

「…ま、考えておく…」

オレは立ち上がると、そのまま短い挨拶だけして松井の横を通り過ぎた。

「ただいま…」

オレは廊下の電気をパチッと点けた。『お帰り〜』という声は聞こえてこない。オレは一人っ子だし、両親は仕事 중이다。

（そつだ。弁当箱…）

出しとかなないと、弁当作って貰えないからな。そうぼんやり考えながら鞆を開いた。

「…え…？」

鞆の中には弁当箱と汚いジャージ、ボロボロの財布と、それに煙草が入っていたはずだ。

だけど、そこには見覚えのない品々が入っていた。

教科書、ノート、弁当箱…ここまではいい。だが。

DVD、サングラス、1万円札の分厚い札束と…、…これは…。

「…拳、銃…？」

オレは恐る恐る手に取ってみた。見たことがある…もちろん、テレビの世界だけで…確かこれは。

—コルト・オート—

なんでこんなものがオレの鞆に？

オレの鞆に？

そう疑問を口にしたとき、ハッと答えが浮かんた。

「…松井…」

あるとき、2人して転んだ拍子に、どちらも鞆を落としたはずだ。

義務付けられた全生徒共通の鞆だから、キーホルダーでも付けられない見分けがつかない。

もし、松井が間違えてオレの鞆を持ち、オレが松井の鞆を持って帰ったとしたら。

でも、なんで。

「なんで松井の鞆の中に…これが…」

…どういうことだ？ 松井。

end？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5410j/>

不良少年の疑念

2011年1月16日04時02分発行